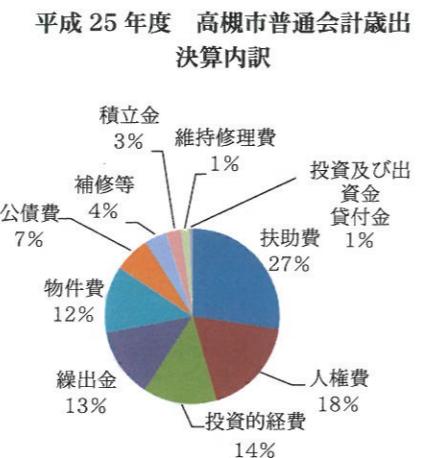


決算審査特別委員会 活動報告

平成25年度一般・特別会計歳入歳出決算並びに企業会計の決算等について、10月の「決算審査特別委員会」で審査が行われました。太田は決算審査特別委員として、下記の項目について質問を行いました。

1 総務費

①行政監察…内部通報制度について、内部通報件数が少ない理由・職員への周知方法について ②ミューズ子ども図書館の官学連携について ③工事の請負について…市内・市外企業との契約推移 ④市内在住率…職員の市内在住率、災害時に対応が出来るのか ⑤債権管理（徴収困難債権の徴収）…債権管理の効率化と適正化について成果・課題 ⑥技術職の職員育成と雇用状況 ⑦地域活動拠点整備事業…総合計画との関係と地域活動拠点施設のあり方



2 民生費（扶助費等）

①障がい者庁内実習サポート事業…事業の成果と今後の取り組み ②母子家庭就業・自立支援事業…実績について ③災害見舞金…件数推移と他市との比較 ④生活福祉（生活保護）…若年層受給者の実態と課題、今後の対策 ⑤医療に関する相談（保健所）…過去3年間・相談に対する医療機関の対応 ⑥要保護児童対策事業（児童虐待防止連絡会議）…代表者会議・実務者会議の内容 ⑦産後ママサポート事業…利用内容の内訳と利用者ニーズの把握

3 衛生費

①動物愛護管理…状況・予算内訳 ②全国動物管理関係事業所協議会近畿ブロック会…内容等 ③環境衛生（セアカゴケグモ）…衛生害虫に関する相談と対応 ④医療機関立ち入り検査…院内感染の集団発生 ⑤母子の健康（ママ・パパ教室）…ママとパパの割合・効果 ⑥ごみ処理施設更新（高槻クリーンセンター）…入札・基金・事業の必要性

4 労働費・農林水産費

①森林ボランティア養成講座企画…内容・効果

5 商工費

①観光協会補助金…適正化 ②悪質商法等被害防止キャンペーン…内容・効果 ③消費生活教育啓発プログラム…内容・効果

6 土木費

①市営住宅駐車場使用料…不法利用の実態と対策 ②放置自転車対策…管理費、事業効果

7 消防費

①防災対象物への立ち入り検査…風俗等特殊営業施設の実態 ②消防救急デジタル無線設備…消防救急デジタル無線の特性と効果 ③搬送患者の待機時間状況…全国平均との差異

8 教育費

①教育なやみの電話相談員（教育センター）…件数・内容内訳 ②朝の読書…各校の差、読書習慣等の効果 ③新任教員と再任用教員について…新任教員配置人数・受け持ち教室数 ④英語支援AET（ネイティブスピーカー講師）…時給・内容 ⑤基礎体力の向上と運動習慣の確立…現状・課題 ⑥進路指導…進路説明会の各校の取り組み ⑦校区外通学者増加…校区外利用件数・実情 ⑧通学路未整備と放課後不審者件数…通学路整備要望と不審者件数の関わり ⑨体力向上…体力の状況

9 公債費・緒支出金・予備費・歳入全般

①資産運用状況について

10 国民健康保険特別会計

①国民健康保険料滞納状況と徴収体制について

11 自動車運送事業

①自動車運送事業健全化計画

「決算審査特別委員会」とは、前年度の予算が正しく執行されたかどうかを審査するための委員会のことです、その結果は今後の予算執行に反映されます。



詳しくは、
市議会ホームページをご覧ください。
<http://www.kensakusystem.jp/takatsuki/index.html>

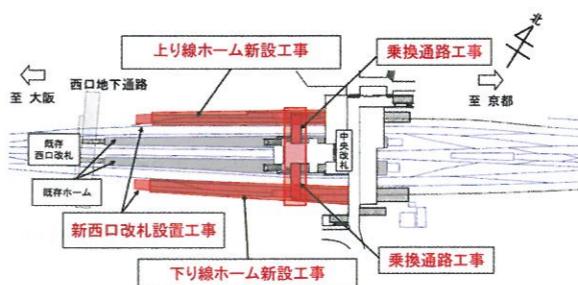
新快速専用ホームと改札口を新設 西口周辺の整備も進められる

JR高槻駅 改良工事を視察

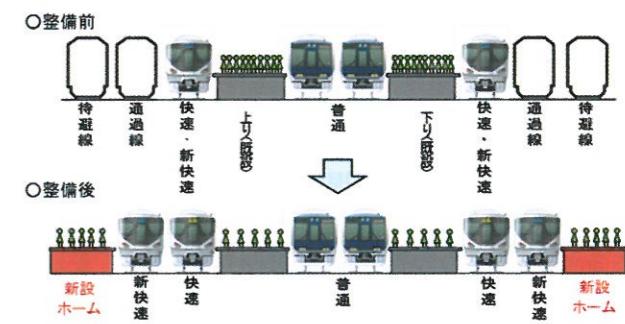
1日に約12万5千人が乗降するJR高槻駅は、JR西日本管内で9番目に利用者が多い駅ですが、ホームの形状が開業時から変わっていないため、ラッシュ時はホームに乗降客が集中して非常に混雑し、安全性に大きな課題がありました。

この課題を解消するためJR西日本と市が協議を重ね、平成25年4月に協定を締結し、JR西日本が国と市の補助金を活用しながら、新たな新快速専用のホームと、新しい改札口（新西口改札）を整備することになりました。現在は、平成28年春の供用開始を目指して、JR西日本が整備を進めておられます。

12月定例会では、この改良工事に合わせ、駅利用者の安全で円滑なアクセスを確保するため、「JR高槻駅西口周辺都市基盤整備」の費用として、4900万円を計上した補正予算案が可決されました。



工事の内容（高槻市ホームページより抜粋）



今期もインターンシップの受け入れを始めました

近年企業や大学で導入されている「インターンシップ」という研修制度の議員版プログラムです。2ヶ月間という期間、議員と行動を共にする事で、議員の仕事はどんなものなのか、どんな思いを持って活動しているのか、政治は社会とどのようにつながっているのかを直接体験し、政治への関心を高め、自分の将来や今後の生活に活かす事を目的としています。インターンシップは、アルバイトのようにお金を稼ぐために働くのではなく、実務能力、実社会への適応能力の向上、職業適性やキャリアプランに対する意識が明確化に繋がるよ

うな仕事をするというところに違いがあります。同様に、ボランティアとも違います。ボランティアは、基本的には自分以外の人のためになることが第一の目的ですが、インターンシップは自分のためにならなければ、意味がありません。

今回受け入れたインターンシップ生は京都産業大学2回生（O.K）、近畿大学2回生（F.M）、関西学院大学1回生（O.I）、立命館大学1回生（T.K）の計4名です。

《インターン生の意気込み》

この2ヶ月間、普通に大学に通っているだけでは出来ない経験がたくさんあると思います。その出来事ひとつひとつに全力で取り組んで、物事を深く考えられるようになります。インターンが終わった後に成長したと実感できるように頑張りたいと思います。（近畿大学2回生 F.M）

